

ARスポーツを活用した地域高齢者活性化プロジェクト

主な連携先地域：さいたま市



対象地域の特徴や課題	さいたま市は「スポーツのまち さいたま」を標語に掲げ、スポーツ振興まちづくり計画を推進している。しかしながら、青少年向けの活動は盛んであるものの、高齢者を対象とした運動事業はまだ十分でなく、体力低下、特にロコモティブシンドローム（ロコモ）への懸念がなされている。他地域と同様、さいたま市も高齢化率が高まって来ており、市民一人ひとりが生涯を通じて健やかで生き生きとした生活を営むことができるよう、市民、行政、大学が互いに協力し、連携しながら、健康づくりを推進する必要がある。
取り組みの概要や特徴	近年、さいたま市では高齢者の健康増進、認知症予防を目的として、eスポーツが取り入れられている。一方、テレビゲーム型のeスポーツでは身体活動が少ないため、大幅な体力向上が望めないと考えられている。そこで、身体活動量の多いARスポーツ（HADO）を用いて高齢者の体力向上に取り組む。また、高齢者と学生が同じチームでHADOを行い、世代間交流が効果的に行われるかについても検討する。本課題がポジティブな結果であれば、ARスポーツがインクルーシブスポーツとして地域活性化の起爆剤となると考えられる。
主なプログラムなど	学部生を対象とした卒業研究1・卒業研究2（4年生）



担当研究室名/担当教員	スポーツ健康科学研究室（工学部 情報工学科）教授 石崎聡之 実世界インタラクション研究室（工学部 情報工学科）教授 真鍋宏幸 インタラクティブグラフィクス研究室（工学部 情報工学科）教授 井尻敬 健康・体育学研究室（工学部 電子工学科）教授 浜野学 身体運動科学研究室（工学部 機械工学科）准教授 深野真子
関連サイト	さいたま市